令和９年度

総合型選抜Ｂ
(帰国生)
学生募集要項



（フランス式庭園）

豊かな発想を地域に、新たな知を世界へ

宇都宮大学

https：//www.utsunomiya-u.ac.jp

宇都宮大学では、地震、風水害等の災害により被害を受けた受験者の皆さんに対し、入学検定料を免除する制度があります。詳細は、７ページをご覧ください。

また、入学時にも、入学料や授業料の免除・徴収猶予、学生寮の優先的入居などについて、できるだけの配慮を致します。

困難な状況が続いていると思いますが、是非とも夢を失わず、真っ直ぐに前を見ながら歩んでください。応援しています。

【総合型選抜Ｂ（帰国生）を実施する学部（学科)】

・国際学部（国際学科）

【総合型選抜Ｂ（帰国生）主要日程】

出願受付期間
令和８年12月２日(水)～４日(金)

↓

入学試験
令和９年１月25日(月)

↓

合格者発表
令和９年２月10日(水)

↓

入学手続
令和９年２月16日(火)～17日(水)

～個人情報の取扱いについて～

本学では、出願に際し提出いただいた氏名、生年月日、性別、住所、写真、成績その他及び入学試験に関する成績の個人情報は、次の範囲内で利用するとともに適正な管理に努めます。

① 入学者選抜、入学手続など入学までの一連の業務

② 入学後の修学関係（学生証交付、履修指導、名簿作成等）及び学生生活関連（奨学金、授業料免除等）の業務

③ その他、本学の教育・研究、学生支援に必要な業務及び統計・分析のための資料作成等

《目　　次》

1　宇都宮大学の理念と方針、教育目標 …… 1
2　宇都宮大学のアドミッション・ポリシー …… 1
3　募集人員 …… 4
4　出願資格 …… 4
5　出願手続 …… 4
⑴　出願期間 …… 4
⑵　出願方法 …… 4
⑶　出願書類等及び記入要領等 …… 5
⑷　入学検定料免除について …… 7
⑸　出 願 先 …… 7
⑹　受験票の送付 …… 7
6　疾病・負傷や障がい等による受験上及び修学上の配慮に関する事前相談 … 8
7　選抜の方法及び選抜日程等 …… 8
⑴　選抜の方法 …… 8
⑵　選抜日程等 …… 8
8　受験上の注意事項 …… 9
⑴　試験当日の注意事項 …… 9
⑵　不正行為 …… 9
9　入試過去問題の使用について …… 10
10　合格者発表 …… 10
11　入学手続 …… 10
⑴　手続期間 …… 10
⑵　入学手続方法 …… 10
⑶　入学手続時に必要な納付金等 …… 11
⑷　入学後に必要な諸経費 …… 11
⑸　マイナンバーカードの使用について …… 11
12　そ の 他 …… 11
13　令和８年度総合型選抜Ｂ（帰国生）入学者選抜状況 …… 11
14　試験場案内図 …… 12

1　宇都宮大学の理念と方針、教育目標

★理念と方針

宇都宮大学は、人類の福祉の向上と世界の平和に貢献することを理念とし、広く社会に開かれた大学として、質の高い特色ある教育と研究を実践するため、次の基本的な方針を定めています。

1　幅広く深い教養と実践的な専門性を身につけ、未来を切り開く人材を育成します。
2　持続可能な社会の形成を促す研究を中心に、高水準で特色のある研究を推進します。
3　地域社会のみならず広く国際社会に学び貢献する活動を積極的に展開します。

この理念と方針を基に、次の「教育目標」を掲げています。

★教育目標

1　基盤教育を出発点として、現代社会に必要な汎用的能力（宇大スタンダード）を育成します。
2　専門教育を通じて、実践的で専門的な知識と技能を涵養します。
3　それらのふたつを有機的に結びつけた４年一貫教育により、幅広い教養と行動的知性を備え、未来の社会を拓き支える人材を育成します。

宇大スタンダード

【論理的思考力】筋道を立てて論理的に物事を考える力
【情 報 活 用 力】情報及び情報手段を主体的に選択し、活用する力
【表　現　力】感情や思考などを伝達可能な形式に表し、効果的・印象的なものとして伝える力
【学　修　力】一人称で物事を捉え自ら行動し、進んで新しい知識・能力を身に付けようとする力
変化に対応し、自らを変えようとする力
【協　働　力】チームの中で協力しながら自分の役割や責任を果たす力
多様な人々との繋がりや協働を生み出す力
【課 題 解 決 力】多面的な視点から現状を分析し、目的や課題を明らかにする力
課題解決に向けた計画を立案し、自律的に取組む力

2　宇都宮大学のアドミッション・ポリシー

宇都宮大学アドミッション・ポリシー

求める学生像と受入れの基本方針

1　未来を切り開いていこうとする夢と情熱を持っている人
2　知的好奇心に富み、専門職業人として持続可能な社会の形成や発展に貢献したい人
3　教養と専門知識を修得するために必要な基礎的な学力とコミュニケーション力を持っている人

ADMISSION POLICY

国際学部 国際学科
アドミッション・ポリシー

Ⅰ プログラムの概要

国際学科では、グローバル化する地域の現状と課題を多文化共生の視点から読み解き、社会を構想していく能力やコミュニケーション能力、行動力、協調性を備えた、グローバルな実践力をもつ人材の育成をめざしています。「宇大スタンダード」に定める汎用的能力に加えて、グローバル化と多文化共生に関する知識・理解に基づき学際的かつ専門的に諸課題を考察する能力、複言語能力やコミュニケーション能力、資料・データ・文献の収集分析能力、論理的に研究成果をまとめ発表し議論する能力、実践的に行動する能力を獲得し、グローバル化する世界の問題解決に積極的に関与できる学生に「学士（国際学）」の学位を授与します。

Ⅱ 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	学士力の土台を固め、自らの可能性を拡げるため、(1) 大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2) 英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3) 自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの６つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専門教育科目	国際学科では、グローバルな実践力に富む人材の育成を目指し、人文社会諸科学を融合させた体系的なカリキュラムを編成しています。多文化共生コア科目（国際関係論、異文化間コミュニケーション、Global Civil Society）（1年次）、多文化共生基礎科目（1～2年次）から専門外国語科目（2年次～）、グローバル専門科目（2年次～）、国際キャリア教育科目（2年次～）、専門演習・実験実習科目（3年次前期）の各科目群を経て、卒業研究準備演習（3年次後期）、卒業研究（4年次）へと段階的に学修を深めていきます。	多文化共生を軸とした専門教育の基礎となる主要な知識、論点を理解する能力、実用的かつ学術的な英語の運用能力、英語以外の外国語を学修し、多様な地域や文化を理解しコミュニケーションを図ろうとする意欲や態度を有していること。また、社会文化的課題や問題を多様な地域や論点と関連づけ、多角的に理解する能力、グローバルな視点から問題を整理・分析する能力、自ら課題を設定し、資料・データ・文献を収集し、適切な方法で分析し、論理的にまとめ発表する能力（文書及び口頭）、その成果に基づいて生産的に議論する能力、課題解決に関与する実践的行動力を身につけるための基礎的学力と意欲を必要とします。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

国際学科における教育課程を確実に修得するためには、高等学校で履修する教科・科目を広く学び、基礎的な知識を身につけておくことが求められます。また、様々な知識や情報をもとに、自分の考えをまとめ発信するためには、読解力に加え、論理的に考えを文章化する能力や、思考と感性を効果的に相手に伝える表現力、英語を中心とした外国語の運用能力が必要です。また、国際的な社会的文化的事象に対して幅広い知識と関心をもち、自分の関心のあるテーマについては、図書館やインターネットなどを利用して自分で調べる習慣や、調べたことをもとに多様な人々とコミュニケーションをとる能力や意欲を持っていることが重要です。
上記のことに加え、学習活動などを通して、主体性をもって他の人々と協働し、共に学び合うという態度をもった学生を歓迎します。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な能力や適性等

①高等学校教育課程の総合的学力を基礎とした広く基本的な知識を持ち、外国語の運用能力と、論理的な作文能力を備えている人

②多文化共生社会に関する問題について主体的に探求し、学修意欲に優れ、多様な現象について論理的に考え、思考と感性を表現することに適性を持っている人

③学修経験や国籍に関係なく、国際的な問題に高い意識を持ち、それらを論理的に論じることのできる能力を持っている人

④多様な外国語や情報収集・分析・発信の方法を学び、多様な地域や文化を背景とする人々とコミュニケーションをとりたいと思っている人

⑤多様な地域・文化を背景とする人々の存在に目を向け、共に学びあいながら、共に生きていく社会について考えたいと思っている人

⑥世界の様々な国と地域に関心を持ち、グローバル化する地域と世界の多文化共生のために自分の力を活かしたいと望んでいる人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）	大学入学共通テストと個別学力検査等の結果、並びに出願書類（調査書）を総合して選抜を行います。広範かつ基本的な知識、それを活用した国際的な社会的文化的事象についての思考力・判断力・表現力、本学科での学修に必要な基礎的な外国語運用能力、主体性等をみることに主眼をおきます。
学校推薦型選抜	出願書類（調査書、自己推薦書等）と面接を総合して選抜を行います。高等学校における学業成績等と、本学科で学ぶための適性や意欲、コミュニケーション能力、国際的な社会的文化的事象に関する課題を理解し、知識を活用して導き出した自分の考えを自分の言葉で語ることのできる表現力をみることに主眼をおきます。
総合型選抜B（帰国生）	出願書類（成績証明書等）、小論文、英語外部試験のスコア、そして面接を総合して選抜を行います。国際的な社会的文化的事象に対する関心、主体的かつ協調的に学修する意欲、文章理解力、思考力、論理構成力、表現力、帰国生としてこれまでに得た知識や経験を活用する力等、本学科で学修する適性と必要な学力をみることに主眼をおきます。
総合型選抜C（社会人）	出願書類（志望理由書等）、小論文、英語外部試験のスコア、そして面接を総合して選抜を行います。国際的な社会的文化的事象に対する関心、主体的かつ協調的に学修する意欲、文章理解力、思考力、論理構成力、表現力、社会人としてこれまでに得た知識や経験を活用する力等、本学科で学修する適性と必要な学力をみることに主眼をおきます。
総合型選抜D（外国人生徒）	出願書類（志望理由書等）、小論文、英語外部試験のスコア、そして面接を総合して選抜を行います。国際的な社会的文化的事象に対する関心、主体的かつ協調的に学修する意欲、文章理解力、思考力、論理構成力、表現力、外国人生徒としてこれまでに得た知識や経験を活用する力等、本学科での学修に必要な学力をはかり、適性をみることに主眼をおきます。
私費外国人留学生選抜	出願書類（成績証明書等）、日本留学試験の成績、英語外部試験のスコア、学力検査等を総合して選抜を行います。大学で学ぶための基礎学力を重視し、日本留学試験では「日本語」「総合科目」「数学（コース 1）」を評価対象とします。国際的な社会的文化的事象に対する関心、主体的かつ協調的に学修する意欲、論理的に考察する力、日本語を正確に理解し、表現する力、これまでに得た知識や経験を活用する力等、本学科での学修に必要な学力をはかり、適性をみることに主眼をおきます。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等			①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応			知識・技能	思考力・判断力・表現力			主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆			
		個別学力検査	☆☆☆	☆☆	☆			
		小論文	☆☆☆	☆☆				
		出願書類（調査書）	○					
学校推薦型選抜		面接	☆	☆☆☆			☆☆☆	
		英語外部試験	○					
		出願書類（自己推薦書等）	☆☆☆	☆☆☆			☆☆☆	
総合型選抜	B（帰国生）	英語外部試験	☆☆☆			☆		
		面接	☆	☆☆☆			☆☆☆	
		小論文	☆☆	☆☆☆		☆	☆	
		出願書類（成績証明書等）	○					
	C（社会人）	英語外部試験	☆☆☆			☆		
		面接	☆	☆☆☆			☆☆☆	
		小論文	☆☆	☆☆☆		☆	☆	
		出願書類（志望理由書等）	☆☆☆	☆☆☆			☆☆☆	
	D（外国人生徒）	英語外部試験	☆☆☆			☆		
		面接	☆	☆☆☆			☆☆☆	
		小論文	☆☆	☆☆		☆	☆	
		出願書類（志望理由書等）	☆☆☆	☆☆☆			☆☆☆	
私費外国人留学生選抜		英語外部試験	☆☆☆			☆		
		日本留学試験	☆☆☆			☆		
		面接	☆	☆☆☆			☆☆☆	
		小論文	☆☆☆	☆☆		☆	☆	
		出願書類（成績証明書等）	○					

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

3　募集人員

（単位：人）

学　部	学　科	募集人員
国際学部	国際学科	2

4　出願資格

日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、次の⑴～⑺の要件のいずれかに該当する者とする。

⑴　学校教育における12年の課程のうち、外国の学校に最終の学年を含め２年以上継続して在学し、令和７年４月１日から令和９年３月31日までに修了又は修了見込みの者。

⑵　令和７年４月１日から令和９年３月31日までに日本の高等学校若しくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者で、日本の教育制度の中学校及び高等学校若しくは中等教育学校に相当する期間のうち、外国においてその国の教育制度に基づく中学校ないし高等学校に通算３年以上在籍した者。ただし、日本の高等学校若しくは中等教育学校後期課程の在学期間は２年以内の者とする。

⑶　外国において、スイス民法典に基づく財団法人国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を令和７年４月１日から令和９年３月31日までに取得した者。

⑷　ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められているアビトゥア資格を令和７年４月１日から令和９年３月31日までに取得した者。

⑸　フランス共和国において、大学入学資格として認められているバカロレア資格を令和７年４月１日から令和９年３月31日までに取得した者。

⑹　グレート・ブリテン及び北アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を令和７年４月１日から令和９年３月31日までに取得した者。

⑺　欧州連合構成国において大学入学資格として認められている欧州バカロレア資格を令和７年４月１日から令和９年３月31日までに取得した者。

（注）上記⑴及び⑵については、外国に設置された学校であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている在外教育施設は含まれません。

5　出願手続

⑴　出願期間

令和８年12月２日(水)から12月４日(金)まで（ただし、12月４日は17時までに必着とします）

（注）出願期間後に到着したものは、受理しないので注意してください。

⑵　出願方法

原則として、**郵送**とします。

次ページ⑶に示す書類等を取りまとめ、本要項に添付されている**総合型選抜Ｂ（帰国生）出願のための書類送付用の封筒**を使用し、その封筒裏面で出願書類に漏れがないことを出願者チェック欄にチェックを入れて確認し、**必ず「書留・速達」**で送付してください。

(留意事項)

郵送に際しては、郵便事情及び書類不備の場合も考慮し、十分余裕をもって発送してください。なお、期間内に到着しないおそれがある場合は持参してください。

⑶　出願書類等及び記入要領等

出願書類等は、黒のボールペンを用いて楷書で記入してください。

ただし、出願書類の※印の欄は記入しないでください。

出願書類等	記　入　要　領　等	
◇入　学　志　願　票	氏　　名	戸籍上の氏名を記入すること。
	生　年　月　日	年齢は令和９年４月１日現在で記入すること。
	性　　別	該当するものを○で囲むこと。
	現　住　所	詳細に記入すること。 郵便が間違いなく届くように、アパート名、マンション名、棟、部屋番号、○○様方などを省略せずに記入すること。
	連　絡　先	本学からの連絡を**確実に受信できる連絡先**を記入すること。 現住所と同じ場合は「同上」と記入すること。
	出願資格	出身学校の欄 日本の高等学校若しくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者 該当するものを○で囲み、都道府県名、学校名及び卒業又は卒業見込みの年月を記入すること。 高等学校若しくは中等教育学校以外の欄 日本の高等学校若しくは中等教育学校を卒業又は卒業見込み以外の者 該当するものを○で囲むこと。
◇写　真　票	氏名を**「入学志願票」**と同じ要領で記入し、所定の欄にカラー写真を貼付すること。（写真の大きさ：縦４㎝×横３㎝）。以下の【使用できない写真の例】に該当するような、本人確認に支障のある写真の場合には、出願を受け付けられないことがあるので注意すること。 【使用できない写真の例】 不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、化粧や前髪が目にかかるなどで本人確認が困難、複数名で写っている、画像に加工を施している、現像された写真を再撮影しているもの等。	
◇受　験　票	同上。	
卒業（修了）証明書又は同見込み証明書	出身学校長が作成したもの。 ただし、４の出願資格⑶に該当する者は、**国際バカロレア資格証書**の写し、４の出願資格⑷に該当する者は、**アビトゥア資格証書**の写し、４の出願資格⑸に該当する者は、**バカロレア資格証書**の写し、４の出願資格⑺に該当する者は、**欧州バカロレア資格証書**の写しを提出すること。	
成　績　証　明　書	高等学校若しくは中等教育学校３年間の成績証明書、４の出願資格⑶に該当する者は、**ＩＢ最終試験の成績評価証明書**、４の出願資格⑷に該当する者は、**一般的大学入学資格証明書**の写し、４の出願資格⑸に該当する者は、**バカロレア資格試験成績証明書**、４の出願資格⑹に該当する者は、**成績評価証明書**の写し、４の出願資格⑺に該当する者は、**欧州バカロレア最終試験証明書**の写しを提出すること。	
調　査　書	日本の高等学校若しくは中等教育学校に在学したことがある者のみ。 地震、風水害等の影響で学校等が被災し、調査書の必要事項の一部が記入できない又は調査書そのものが提出できない場合は、11月24日㈫までに学務部入試課へ相談すること。	
①実用英語技能検定（「英検」（従来型）、「英検 S-CBT」、「英検 S-Interview」）「合格証明書」* 又は「英検 CSE スコア証明書」*	次の①～⑥のいずれか１つを提出若しくは申請すること。 ①実用英語技能検定（「英検」（従来型）、「英検 S-CBT」、「英検 S-Interview」）「合格証明書」又は「英検 CSE スコア証明書」： 入試の実施日から過去３年以内に実施された（一次試験と二次試験にまたがって実施された試験については、一次試験日とする）実用英語技能検定の「合格証明書」原本（和文又は英文のいずれか１点のみ）、又は「英検 CSE スコア証明書」原本を出願書類として提出すること。原本は受験票送付時に返却するが、その際に書類を折りたたむことがある。	
② TOEIC（公開テスト）Listening & Reading「Official Score Certificate」* 又は「Digital Official Score Certificate」	② TOEIC（公開テスト）Listening & Reading「Official Score Certificate」又は「Digital Official Score Certificate」： 入試の実施日から過去3年以内に実施された TOEIC の「Official Score Certificate（公式認定証）」原本、又は「Digital Official Score Certificate（デジタル公式認定証）」PDF を印刷したものを出願書類として提出すること。原本は受験票送付時に返却するが、その際に書類を折りたたむことがある。	

出願書類等	記 入 要 領 等
③ TOEFL（「iBT」、「iBT Home Edition」）公式スコア	③ TOEFL（「iBT」、「iBT Home Edition」）公式スコア： 検定試験運営機関である米国 ETS の ETS アカウント（My TOEFL Home）にて DI コード 7976 を選択し、本学へのスコアの送付（オンライン）を手配すること。手配されたオンラインスコアを、本学が ETS のサービスを利用して確認できた場合のみ有効とする。ただし Test Date スコアのみ有効とし、My Best™ スコアは受け付けない。 また、出願時確認用として、ETS アカウントからダウンロードし、印刷した「Test Taker Score Report」を本学あて出願書類に同封すること。 出願期間最終日までに ETS のサービスにて本学がスコアを確認できない場合は、出願を受け付けない。
④ IELTS（「アカデミック・モジュール」又は「ジェネラル・トレーニング・モジュール」）「追加成績証明書」	④ IELTS（「アカデミック・モジュール」又は「ジェネラル・トレーニング・モジュール」）「追加成績証明書」： 検定試験運営機関である日本英語検定協会（日本以外で受験した場合は当該地域の事務局）から本学あて直接送付される「追加成績証明書」のみ出願書類として有効とする。 入試の実施日から過去２年以内に実施された IELTS の「追加成績証明書」が出願期間最終日までに本学へ届くよう、受験者本人から試験運営機関に申請すること。海外で受験した場合は、本学到着までに時間を要するので、特に早めに申請すること。 なお、出願時確認用として受験者用控え「Test Report Form」写しを本学あて出願書類に同封すること。 受験者から「Test Report Form」の原本が直接提出されても出願書類として受け付けない。 出願期間最終日までに試験運営機関からの「追加成績証明書」が本学に未着の場合は出願を受け付けない。 また、いずれの書類も受験者あてに返却しない。
⑤ GTEC（CBT タイプ又は検定版（Advanced タイプ））「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」	⑤ GTEC（CBT タイプ又は検定版（Advanced タイプ））「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」： 入試の実施日から過去2年以内に実施された GTEC（CBT タイプ又は検定版（Advanced タイプ））の「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」写しを出願書類として提出すること。
⑥ TEAP（４技能）又は TEAP CBT「成績表」 のいずれか１点 ㊟3参照	⑥ TEAP（４技能）又は TEAP CBT「成績表」： 入試の実施日から過去２年以内に実施された TEAP（４技能）又は TEAP CBT の「成績表」写しを出願書類として提出すること。
◇渡 航 状 況 説 明 書	渡航理由と渡航先での学習状況を記入すること。
◇入 学 検 定 料	１７,０００円 必ず本学所定の銀行振込用紙を用い、振込依頼人の名義欄は、受験者本人の名前を記入し、本学の取引銀行（足利銀行・栃木銀行・みずほ銀行）のいずれかの口座に振り込むこと。ただし、ＡＴＭでの振込は行わないこと。 なお、その際振込銀行から発行される**「振込受付証明書」**を受け取り「振込受付証明書貼付台紙」の所定の欄に貼付すること。 また、地震、風水害等による被災の関係で入学検定料免除を申請する者は、７ページ「⑷入学検定料免除について」を参照し、入学検定料免除申請書（別添書類）を提出すること。その場合は、入学検定料は納付せずに、氏名とフリガナのみ記入し、「免除申請」を○で囲んだ「振込受付証明書貼付台紙」を提出すること。
◇受験票送付用封筒	本人の郵便番号、住所、氏名を記入し、必ず**410円**分の切手（速達）を貼付すること。
◇合 格 通 知 書 等 送付用住所ラベル	詳細に記入すること。郵便が間違いなく届くように、アパート名、マンション名、棟、部屋番号、○○様方などを省略せずに記入すること。

（注）１　◇印の出願書類は、この要項に添付されている所定の用紙を使用してください。
２　入学検定料については、出願書類を受理した後にはいかなる理由があっても返還しません。
３　受理した書類等は、＊印の書類（原本）を除き、いかなる理由があっても返還しません。
４　受理した書類等の記載内容は、変更できません。なお、氏名、現住所、連絡先及び電話番号に変更が生じた場合は、速やかに学務部入試課へ連絡してください。
５　日本語以外の言語で記載されている書類には、訳文の提出を求める場合があります。
６　提出した書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消すことがあります。

⑷　入学検定料免除について

本学では、災害等で被災された方の経済的負担を軽減し、受験者の進学機会の確保を図るために、入学検定料免除の特別措置を下記のとおり行います。

①　免除申請の要件

入学検定料の免除を申請できるのは、入学試験を行う当該年度において日本国内で発生した、災害救助法（昭和22年法律第118号）が適用された地域における地震、風水害等の災害（以下「災害」という。）により、次に該当する者です。

ア　主たる家計支持者（父母又はこれに代わって家計を支える者のうち、所得金額の最も多い者。以下「家計支持者」という。）が、災害救助法の適用地域において被災し、居住している又は居住していた家屋について、市区町村から次のいずれかに係る証明書を交付される者

㋐　全壊

㋑　大規模半壊

㋒　半壊

イ　家計支持者が、災害により死亡又は行方不明となった者

②　免除申請の手続

入学検定料の免除を受けようとする者は、出願時に、入学検定料免除申請書（別添書類）に、次のいずれかの証明書（写し可）を添えて、申請してください。

ア　①アに該当する者

罹災証明書、被災証明書等

イ　①イに該当する者

㋐　家計支持者が死亡した場合

家計支持者の死亡が確認できる書類

㋑　家計支持者が行方不明となった場合

家計支持者の行方不明の事実が確認できる書類又は行方不明となったことに係る申立て（入学検定料免除申請書に記載してください。）

なお、提出書類について不明な点がある場合は、あらかじめ学務部入試課まで問い合わせてください。

また、免除申請の要件を満たしていなかった場合は、入学検定料の納付について学務部入試課から電話にて連絡します。

⑸　出願先

〒321-8505　宇都宮市峰町350
宇都宮大学学務部入試課

⑹　受験票の送付

受験票は、出願期間終了後、出願者全員に送付しますので、令和８年12月17日(木)までに到着しない場合は、学務部入試課へ申し出てください。

6　疾病・負傷や障がい等による受験上及び修学上の配慮に関する事前相談

疾病・負傷や障がい等のために、受験上及び修学上で配慮を必要とする場合は、下記期限までのできるだけ早い時期に学務部入試課との相談を開始してください。

また、事前相談の期限後であっても、受験上及び修学上で配慮が必要となった場合は、その時点で速やかに申し出てください。

⑴　事前相談の期限　　令和８年11月18日(水)まで

⑵　事前相談申請書の提出

事前相談申請書（様式はホームページに掲載　https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/entrance-exam-info/faculty-entrance-exam/）に次の内容を記載し、医師の診断書（入学試験において必要な配慮が、具体的に記載されたもの。写しでも可とします。）を添えて学務部入試課へ提出してください。

① 氏名、住所、連絡先電話番号、連絡可能な時間帯
② 志願予定の選抜の種類（総合型選抜Ｂ（帰国生））、学部・学科
③ 疾病・負傷や障がい等の内容・程度
④ 受験上の配慮を希望する事項
⑤ 修学上の配慮を希望する事項
⑥ 出身学校等で受けていた配慮の内容
⑦ 日常生活の状況

7　選抜の方法及び選抜日程等

⑴　選抜の方法

入学者の選抜は、出願書類の他、小論文、英語外部試験のスコア、面接を総合して決定します。

学　部	学　科	試　験　内　容	
国際学部	国際学科	小　論　文 (1時間30分)	総合的な問題把握能力、独創性、一般的な知識、論理的な思考力、構成・表現力、日本語能力を評価する。 〈具体的な方法〉 課題文（Ａ４、１～２ページ程度）を読み、問題の指示に従って800字程度の小論文を書く。 〈評価の観点〉 日本語で書かれた課題文の内容を的確に理解し、要点を把握する能力と、自分の知識や経験を活かして独自の創性のある考えをまとめる能力、考察を論理的に進めて文章を構成する能力、日本語の表現・表記の能力等を評価する。
		英　　語	当日筆記試験を行わずに、実用英語技能検定・TOEIC・TOEFL・IELTS・GTEC・TEAP・TEAP CBT のうちいずれか１つの成績を換算使用する。
		面　　接 (15分程度)	一般的な理解力・思考力・表現力とともに、国際的な社会的文化的事象に対する関心、知識、問題把握能力を評価する。 〈具体的な方法〉 面接は個人面接とし、複数の面接員により行う。志望動機、関心のある領域・問題、将来の計画などを尋ねる。 〈評価の観点〉 国際的な社会的文化的事象に対する関心の度合い、学修意欲、適性、面接員の問いを精緻に把握して、自分の考えを説得力を持って伝える能力等を評価する。

⑵　選抜日程等

学部	選抜日	集合時刻	集合場所	試験開始時刻	試験場
国際学部	令和９年 １月25日(月)	８時30分	峰キャンパス ６号館Ａ棟 玄関ホール	９時	宇都宮大学峰キャンパス 国際学部 (宇都宮市峰町350)

8　受験上の注意事項

⑴　試験当日の注意事項

①　**試験当日は、「本学の受験票」を必ず持参してください。**

②　試験当日は、指定された集合場所に、集合時刻までに必ず集合してください。これに遅れる場合は、試験開始後30分までは受験を許可します。ただし、試験時間の延長は認めません。

③　受験の際に机の上に置くことのできるものは、受験票、鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能だけのものに限ります。）、眼鏡、ハンカチ及びティッシュペーパー、目薬、鉛筆キャップだけです。

④　下敷き、座布団については、監督者の許可を得たものに限り使用することができます。

⑤　携帯電話・スマートフォン等は必ず電源を切り、監督者の指示に従ってください。

⑥　天候等の影響で、交通機関が平常どおりに運行していない可能性があります。試験場には、時間に余裕をもって来るようにしてください。

⑦　試験当日は、自動車及びバイクによる試験場内への乗り入れを禁止します。

⑵　不正行為

①　次のことをすると不正行為となります。ただし、試験時の説明で認められている行為については、不正行為に該当しません。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した選抜区分の全ての成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

ア　志願票、受験票へ故意に虚偽の記入（受験票・写真票に本人以外の写真を貼るなど）をすること、解答用紙へ故意に虚偽の記入（解答用紙に本人以外の受験番号を記入するなど）をすること
イ　カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること
ウ　他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること
エ　配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと
オ　解答用紙を試験室から持ち出すこと
カ　監督者が試験開始を指示する前に、問題冊子を開いたり解答を始めること
キ　試験時間中に、使用が認められていない定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること
ク　試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ＩＣレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること
※イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。（病気・負傷や障がい等により、試験時間中に補聴器等を使用したい場合は、受験上及び修学上の配慮に関する事前相談が必要です。）
ケ　監督者が試験終了を指示した後に、その指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること
コ　その他、試験時の説明で禁止された行為をすること

②　上記①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。ただし、試験時の説明で認められている行為については、不正行為に該当しません。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、①と同様です。

ア　試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ＩＣレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること
イ　試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）をならすなど、試験の進行に影響を与えること
ウ　試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること
エ　試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること
オ　試験場において監督者等の指示に従わないこと
カ　その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること
※その他、試験時間中に使用できないものや身に付けることができないもの等が発見された場合も不正行為に該当する場合があります。

9　入試過去問題の使用について

本学の「アドミッション・ポリシー」に基づき、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」への参加大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。（必ず使用するとは限りません）

⑴　入試過去問題を使用して出題する場合は、一部を改変することもあります。

⑵　入試過去問題を使用して出題した場合は、入試終了後、受験者に分かるように本学ホームページ等で公表します。

⑶「入試過去問題活用宣言」の詳細及び参加大学一覧は、次のＵＲＬをご覧ください。
https://www.nyushikakomon.jp/

10　合格者発表

⑴　発表日時

令和９年２月10日（水）　14時

⑵　通　知

合格者には**「合格通知書」**を郵送します。

⑶　ホームページでの掲載

ホームページ「http://nyushi.utsunomiya-u.ac.jp/goukaku.html」においても合格者の受験番号を掲載する予定です。これは情報提供サービスの一環で行うものですので、必ず合格通知書により確認してください。

（注）電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

11　入学手続

⑴　手続期間

令和９年２月16日（火）から17日（水）（ただし、17日は17時までに必着とします）

※　手続期間内に入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。

⑵　入学手続方法

入学手続等に関する書類は、「合格通知書」送付の際に同封します。

⑶　入学手続時に必要な納付金等

ア　入学料　　２８２,０００円

※１　入学料は予定額ですので、改定されることがあります。

※２　既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

イ　TOEIC IP テスト受講料、学生教育研究災害傷害保険及び賠償責任保険料等（４年間分）
１２,４００円〔令和８年４月現在〕

⑷　入学後に必要な諸経費

ア　授業料　　５３５,８００円（年額）

※１　授業料は予定額ですので、改定されることがあります。

※２　在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。

※３　授業料は、半期分（２６７,９００円）をそれぞれ指定された銀行預金口座からの自動引落しによる口座振替の方法で納付することになります。（前期分授業料口座振替日は５月下旬）

イ　教科書代　　自己負担となります。

ウ　実験・実習費　　自己負担になることがあります。

⑸　マイナンバーカードの使用について

宇都宮大学では、令和３年度入学者からマイナンバーカードを図書館での館外貸出や夜間休日等の本学建物への入棟の際などに活用しています。詳細については、本学ホームページ「https://www.utsunomiya-u.ac.jp/convenient/campuslife/gakuseisyo.php」をご確認ください。

なお、マイナンバーカードの取得には、１～２か月程度かかりますので早めに手続きをお願いします。マイナンバーカードの申請方法等については、地方公共団体情報システム機構のマイナンバーカード総合サイト「https://www.kojinbango-card.go.jp/apprec/」をご確認ください。

12　その他

⑴　総合型選抜Ｂ（帰国生）に関して不明な点は、次に照会してください。

〒321-8505　　宇都宮市峰町350
宇都宮大学学務部入試課
TEL　028（649）5112

※入学試験に関する問い合わせは、原則として志願者本人が行ってください。
※受付時間：平日９：00 ～ 17：00

⑵　受験者に対する宿泊のあっせんは行いません。

13　令和８年度総合型選抜Ｂ（帰国生）入学者選抜状況

学　　部	学　　科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
国際学部	国際学科	2	9	6	3	2

14　試験場案内図

◎電車

●ＪＲ東北新幹線

東京駅 …… 約１時間 ……→
仙台駅 …… 約1時間20分 ……→　宇都宮駅

●ＪＲ宇都宮線（快速列車/普通列車）

上野駅 …… 約１時間30分／約２時間 ……→　宇都宮駅

●東武日光・宇都宮線

浅草駅 …… 約２時間 ……→　東武宇都宮駅

◎高速バス

●関東自動車

成田空港（第２ターミナル） …… 約２時間50分 ……→
羽田空港（第２ターミナル） …… 約２時間50分 ……→　宇都宮駅



【峰キャンパス】国際学部試験場（ＪＲ宇都宮駅から約2.2㎞）

●ＪＲ宇都宮駅西口から

関東バス（14番乗り場）　真岡行、益子行、ベルモール行、星の杜中学校・高等学校行
乗車約10分「宇都宮大学前」下車　徒歩１分

●ＪＲ宇都宮駅東口から

ＬＲＴ　全ての便　乗車約６分「峰」下車　徒歩12分

関東バス（３番乗り場）　ベルモール行、卸団地循環線　乗車約10分「宇都宮大学前」下車　徒歩1分

●東武宇都宮駅から

関東バス（１番乗り場）　真岡行、益子行、ベルモール行、星の杜中学校・高等学校行
乗車約20分「宇都宮大学前」下車　徒歩１分

宇都宮大学
受験生ポータルサイト

https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/
又は右図二次元コードでご確認ください。

宇　都　宮　大　学
学　務　部　入　試　課
〒321-8505　宇都宮市峰町350
TEL　０２８（６４９）５１１２